

関する決議



委員会提出 **11**対**2**
賛成 反対

オスプレイに関する決議

26年2月28日、相馬原演習場において日米共同訓練が行われた。当初はオスプレイが参加する予定でしたが、米側の都合により見送りとなった。

訓練を実施するにあたり、オスプレイについては、国から丁寧な説明を受け、国防上の必要性はもとより、安全性及び災害時にも高い能力を発揮すること等の理解が深まり、議会としても日米共同訓練に反対するものではないとしたところである。

なお、25年11月にフィリピンで発生した大規模な台風被害の救援活動において、米軍のオスプレイが派遣され、支援を展開した。

また、首都圏直下型地震が万が一発生した場合においても、オスプレイが有する高い航空運航能力は、災害救難活動に活用することは極めて有効であり、安心・安全に寄与するものと思われる。

議会としては、自衛隊と共存共栄するという立場から、国防に協力するという方針であり、沖縄の負担軽減に寄与するならばオスプレイの訓練等を今後も受け入れるとともに、自衛隊のオスプレイ配備については、理解を示すものである。

なお、オスプレイが配備される際には、村民の安全・安心が守られるなど、十分な配慮をお願いする。

以上、決議する。

平成26年6月19日

榛東村議会

提出理由

議会としては、自衛隊と共存共栄するという立場から、国防に協力するという方針であり、沖縄の負担軽減に寄与するならばオスプレイの※訓練等を今後も受け入れるとともに、自衛隊のオスプレイ配備については、理解を示すものである。

議会と基地対策・幹線道路特別委員会の調査研究の経緯

- 25年 9月11日 (基)防衛白書について北関東防衛局より説明を受ける
 - 12月 6日 2月下旬予定される相馬原演習場での日米共同訓練について議員懇談会を開催
 - 12月11日 防衛省からの要望書に基づく回答について全員協議会を開催
 - 26年 1月16日 (基)防衛計画見直しの説明を受ける
 - 2月13日 (基)オスプレイ参加の日米共同訓練の概要について陸上自衛隊饗庭野演習場を視察研修
 - 2月14日 (基)オスプレイ参加の日米共同訓練の市議会・市の対応について滋賀県高島市議会を視察研修
 - 2月28日 相馬原演習場にて「日米共同訓練」の一部を見学(オスプレイ参加せず)
 - 6月19日 「オスプレイに関する決議」提出
- (基)は基地対策・幹線道路特別委員会

※「訓練等」とは、訓練及び災害派遣のことです。

オスプレイに

基地対策・幹線道路特別

質疑

問 なぜ、この早い時期に、この決議を提案したのですか。

答 **基地対策・幹線道路特別委員長** 国においても沖縄の基地負担軽減については、以前からその施策を進めているところであり、秋口にはその具体策が示されると聞いております。本議会における決議は、時宜を得たものと考えております。

問 住民に対する配慮、住民の意見というものを全く考えないで決議を提出したように思えます。樺東住民はもちろん周辺住民のことをどのように考えるのかこの決議を提出したのですか。

答 **基地対策・幹線道路特別委員長**

2月下旬の日米共同訓練は、実際にオスプレイは参加しませんでした。村民に対する説明については、区長、農業委員等への説明を村で行ったところであり、その延長上と理解し決議を提出しました。



饗庭野演習場での日米共同訓練（陸上自衛隊提供）

討論

反対討論

柳田キミ子

オスプレイは、構造上の欠陥があると聞いておりますし、これまでもアメリカやハワイで墜落死亡事故を起こしています。決議案では、相馬原演習場での訓練受け入れや沖縄の負担軽減に寄与するとしておりますが、逆に日本全土が基地化する危険があると感じております。基地が所在する本村であるがゆえに、ジラード事件などの悲劇を生みました。村民の安心・安全を守るためには、危険なオスプレイの配備は絶対に反対です。

反対討論

早坂 通

全く住民の意見を聞かず住民をないがしろにした今回の唐突な決議の提出には賛成致しかねます。

賛成討論

柏井 保夫

まず初めにオスプレイの安全性につきまして、本年2月28日の日米共同訓練において実際オスプレイは参加していませんが事前協議で安全について説明を受けました。

また、本村においては、区長並びに農業委員の皆様説明をして安全性について確認をしていただいております。

また、基地対策特別委員会は、昨年10月オスプレイ2機が参加し、日米共同訓練が行われた滋賀県高島市の研修を2月の中旬に実施しました。台風で風雨激しい中での訓練であったそうですが、予定地からの離陸・着陸を無難に実施した訓練であったと聞かされ、安全性について理解をしてきたと思っております。

次に防衛省においては、本年1月22日沖縄基地負担軽減推進委員会が設置され、2月18日には第2回推進委員会が開催され、秋までにはスピード感を持って具体策が示されると聞いております。このような状況の中で、ヘリコプター基地を持つ樺東村において沖縄の基地負担軽減に寄与するならば、日米共同訓練を今後も受け入れるとともに、自衛隊のオスプレイ配備についても理解を示していかねばならないと思います。